

事業内職業能力開発計画（個票1）

経営理念、経営方針に基づく人材育成（従業員のキャリア形成支援）の基本的方針・目標

1. 計画の基本方針

法人理念

「愛」「開」「創」

「愛」とは、法人にかかわるすべての人々やものごとに感謝と敬愛の気持ちを持ってお仕えること。

「開」とは、ひろく社会に開かれ、福祉の拠点として無くてはならない存在であること。

「創」とは、時代の流れを正しく読みとり、前例や固定観念にとらわれず、常に前向きに仕事に挑戦すること。

フジの会が目指す施設(介護)

1. 「ここ以外は入所・利用したくない」と思っていただけ施設
2. 全国各地から入所希望者が集まってくる施設
3. 入口を入った瞬間に心地よさを感じていただける施設
4. 良い評判が口コミで噂になる施設
5. 社会から安心感と信頼感を持っていただける施設
6. ここに入所・利用していることが自慢となるような施設
7. 終末期に「ここに入って良かった」と思っていただけ施設
8. 自分の周りの方に自信をもって入所・利用を勧めていただける施設
9. 自分の両親を進んで入所・利用させたいくなる施設
10. 働いていることに誇りを持てる施設
11. 学生が就職したくなる施設

フジの会が目指すサービス(介護)

1. ここに来ないと味わうことのできないサービス
2. 何度も利用したくなるサービス
3. 「この人に逢いたい」と思っていただけサービス
4. その人に逢うとほっとしていただけるサービス
5. 「さすが」と思っていただけサービス
6. 思わず「ありがとう」といっていただけサービス
7. 感動していただけるサービス
8. さりげない気配りのできるサービス
9. 誰が対応しても質の高いサービス
10. 「まかせて安心」と言われるサービス

求める人材像(職員の誓い)

1. 常に法人の理念「愛」・「開」・「創」に基づいて行動します。
2. ご利用者はおお客様であり「ゲスト」としてもてなし、心からお仕えさせていただきます。
3. 組織の指示・命令系統をよく理解し、上司から命令されたことに対して素直にすぐ行動します。
4. 職場のルールを守り、チームワークを大切にします。
5. 定められたマニュアルを理解し、遵守します。またマニュアルを理解したうえで、マニュアル以上のサービスができるように心がけます。
6. 向上心・向学心・好奇心を忘れず、慢心しません。
7. 目標の達成に向けて誠心誠意努力します。
8. どこへ出てもどんな仕事についても通用する人間であります。
9. 無責任と無関心は悪です。プロとしての自覚を持って行動します。
10. なにごとにおいても逃げません。正面から向き合います。
11. 笑顔・返事・挨拶は誰にも負けません。
12. どこへ出ても恥ずかしくない、丁寧な言葉遣いを心がけます。
13. 誰に対しても不快感を与えません。常に清潔感を心がけます。
14. 間違ったら素直にすぐあやまります。
15. クレームはゲストからのラブコールです。クレームを前向きに受け止め改善します。
16. 良いことはお互いに褒めあい認め合います。
17. 最高のサービスとは何かを求め続けます。
18. 常に改善すべき点を意識して、改善のための前向きな方法を提案します。
19. 失敗すること、つまづくことを恥じません。挑戦しないことの方を恥じます。
(四本の足を持っている馬でさえつまづくーイギリスの諺ー)
20. 失敗やつまづきから学びます。学んだことを次に生かします。
21. 前例や固定観念にとらわれません。積極果敢に挑戦します。
22. 「だけど」・「でも」・「しかし」といったマイナス思考のことばはつかいません。
23. 業務中の私語は慎みます。特にゲストや外来者の前では。
24. 守秘義務の遵守は福祉職員の常識です。たとえ自分の家族であってもゲストの秘密は絶対に口にしません。また、退職しても絶対に。
25. 健康なくしてプロとしての重責を果たせません。自己の健康管理に努めます。

2. 人材育成方針

人材育成の基本方針

- ・法人の理念に基づき幅広く多様な分野で活躍できる機会を作り、倫理観、専門性の向上、対人関係能力を高めていくことで、創造性、多面性、柔軟性を持ち合わせた人材の育成を図る。
- ・人と人との関係に和やかさを創り出し、互いの存在を認め合いながら連携を図り、組織のチーム力を向上させていけるプラス思考で目標指向型の人材育成を目指す。
- ・組織の中にとどまらず幅広く地域社会に貢献できる人材育成を目指す。

人材育成の目標

・組織のチーム力を向上させるために、コミュニケーション能力と人材育成の能力を培う。人材育成にかかる基礎を作り、職場内教育研修のシステムを整備、構築していく体制作りを行う。

まず、平成 27 年度は、介護現場のチーム力を向上させるために、中堅職員を対象に、介護の基本であるコンプライアンス、人権擁護の理解を深め、介護の基礎知識、マナー、コミュニケーション力の向上を目指した研修を行い、ケアスタッフの指導、育成にあたる人材を育成する。

また、職員それぞれが自分の可能性を信じて成長し、その成長を実感することで仕事へのやりがい、働きがいを見出せる教育研修システムづくりを目指す。